



学校だより

9月号

横浜市立大道小学校
令和3年9月1日



← 学校 WEB ページはこちらから

校長 加藤 和之

「9月のスタートによせて」

思いがけず5日延びた夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。「やっぱり、子どもたちの元気な声が響いてこそこの学校だな。」と再確認します。とは言え、しばらくは「分散登校」なので、寂しさは否めません。全員が揃って、いつものように学習できるのは、もう少し先になりますが、「今、できること」をていねいに積み重ねていきたいと思います。

振り返ると、「東京 2020 オリンピック」の盛り上がり一方で、後半はかつてない感染拡大に翻弄された夏休みだったように思います。中でも、子どもの感染が増加しているという事実は、私たちにとって脅威となることです。学校再開を心配される保護者の皆様も、少なくないと思います。しかし、「子どもの学びを止めない。」ということも、私たちの大きな使命です。今まで以上に感染拡大防止策の徹底を図りつつ、しっかりと状況を見極めながら、教育活動を進めていきたいと思っています。分散登校中、ご家庭に持ち帰ることになった「GIGA 端末 (ipad)」の活用も少しずつ進めていき、「子どもの主体的な学び」に役立てるためのステップにしたいと考えています。

そして、こんな時こそ、地に足を付け、大切なことを見失わないよう心がけていきたいと考えています。「コロナ禍」で、不安になっている子がいないか、気を付けて見ていきたいと思っています。皆様には、今まで以上のご配慮をお願いすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

さて、現在「東京 2020 パラリンピック」が開催されています。様々な種目の TV 中継を視聴していると、「人間の力はすごい!」と感じずにはられません。

「国際パラリンピック委員会 (IPC)」は、次の四つの価値を重視しています。

- 「勇気」= マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神
- 「強い意志」= 困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力
- 「インスピレーション」= 人の心を揺さぶり、駆り立てる力
- 「公平」= 多様性を認め、創意工夫すれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

「パラリンピアン」たちは、これらの「価値」を体現しようと、日々努力しているのだと思います。TV 等で観る選手たちの姿を思い浮かべると、それが明らかです。

しかし、これらの「価値」を大切にすべきなのは、「パラリンピアン」だけででしょうか。

「パラリンピックムーブメント」という言葉があります。「パラスポーツを通して、世の中の人に気づきを与え、より良い社会をつくるための社会変革を起こそうとする、あらゆる活動のこと」を指します。これは、私たちが日常生活のちょっとした場面でも、できることなのではないでしょうか。私たちにとって、「人は多様であること」が当たり前なんだという前提に立ち、誰もが自分らしく、「よりよい自分」を目指して頑張れるような社会、そして学校を目指したいものだと思います。

今年は、「パラリンピアン」から、多くのことを学ぶ夏となりました。